

平成 27 年度 飯山市公民館運営審議会議事録

日時 平成 27 年 6 月 3 日(水)Pm4:00～

場所 飯山市役所 4 階 全員協議会室

(出席者) 山寄委員、酒井委員、宮澤委員、藤沢委員、丸山委員、金沢委員、佐藤委員、宮下委員、菅原委員、清水委員、大木委員、大熊委員、田中委員、吉越委員、藤木委員 (欠席：松木委員、岩松委員)

事務局：石田部長、荻原課長、田中公民館長、柳係長、常田主査、寺島主任

1 開 会

(課長) ただ今から平成 27 年飯山市公民館運営審議会を開催します。お忙お集まりいただきありがとうございます。

2 辞令交付

(石田部長)

3 あいさつ

(公民館長)

17 名の方々、公民館の運営審議委員としてお世話になります。よろしくお願いします。住民の意見や要望をお聞きする場だという認識でおりますので、忌憚のない意見をお願いします。公民館の目指すところは、元気な飯山、町づくり、そのための人づくりだと思っています。そして、たくさんの人たちが飯山の良さを知り、飯山を愛する気持ち、誇りを育むことだと思っており、それをサポートするのが公民館だと思っております。

新幹線が開業し、小菅が重要文化的景観に選定されるなど、飯山には風が吹いていると思います。小菅の他にも飯山には素晴らしい宝ものがありますので、その情報を上手に発信し素晴らしさを知ってもらうことが、地域振興につながると思います。今年は公開講座で歴史シリーズを 3 つ企画しています。一つは正受老人。学校でも副読本を作りまして学習することを聞いています。公民館でも正受老人を学ぶ年と位置付け、大事に取り組みをしていきたいと思います。7 月には講演会、夏休みには親子体験教室を計画しています。2 番目は小菅です。国から重要文化的景観に選定されました。6 月 13 日に小菅を歩こうとい

う講座が企画されています。3 つ目は飯山藩主佐久間氏を取り上げた講座を計画しています。北陸金沢の武将であります、佐久間 4 兄弟。その一人の佐久間安政は飯山藩主、その弟の勝之は長野市長沼藩主でした。金沢まで新幹線が開業した今年が長沼藩築城 400 年となります。將軍家の石杖を築いた、あるいは北信濃の現在の基礎を築いた二人の要石について知る講座となります。

とにかく飯山の素晴らしさを発信し、地域振興につなげて行きたいと思います。飯山には飯山の町づくりということで、それに関わる団体がたくさんあります。公民館も、その方々と連携して役割を担っていきたいと考えているのでよろしくお願いします。

4 自己紹介

5 会長の選出

職務代理者の選出 会長 清水委員 職務代理 大木委員

6 会長あいさつ

7 議事（議長：会長）

（1）平成 26 年度飯山市公民館事業実績報告、及び決算見込みについて（事務局説明）

（委員）地区館事業のなかの A E D はどの程度そろっているのか。

（事務局）今年度 3 館設置するので、全地区館に設置される。

（委員）築城 450 年記念で各地区で山城から狼煙を上げるとのこと、私も瑞穂で参加したが、自分のところの狼煙を見ながら、他の地区の狼煙も見ることができて、本当に貴重な体験をすることができた。これと同様に本当に飯山らしいここではできない事業が今までの歴史や伝統を積み重ねもあって、飯山らしい体験をたくさんさせていただいた。新幹線が来るという意味でも、これからつながっていくいい事業。本当に多彩で考えた事業をしてもらっている。

（委員）山城なんかは、ずっとここで生まれて育っている人たちでもなかなか行く機会も無い。I ターンで来てくれた人たちの参加の方が多いのかもしれない。ちょうど築城 450 年がきっかけとなってよかった。

（事務局）ちなみに飯山城跡からは 9 地区すべての狼煙が見られた。

（委員）この中で狼煙の実証体験に参加された方はおられますか。

（委員）（2 名いた）いい事業だったと思う。

(委員) 実際子供たちの参加が少なかった。もっと多くの方が参加できるようにプレスリリースすればよかったと思う。

(委員) 写真では年配者が多い。若い参加者は少なかったのか。

(事務局) 確かに少なかったが、歴女と呼ばれているような女性の方の参加がわりとあった。

(委員) ブームに火がつけばいいと思う。

(2) 平成27年度飯山市公民館事業基本方針について(事務局説明)

(3) 平成27年飯山市公民館事業計画、及び予算について(事務局説明)

(委員) 事業計画の中の地域資源を生かして飯山市の魅力を再発見していくという事業で、各地区館と連携した事業の中身が、私が経験した中で、カエルの学校や万仏山山開きなど、この地域でしかできない自然体験をした。万仏山の山開きなどは初めて参加したが、観音様とか、本当に先人の方が雪の中、寒い中、運んで設置したり、数百年の重みのあるものを実際に体験したが、移住者で体験した人は毎年参加したいと言っていたし、大阪からIターンできた友人に話をしたら、今年は参加できなかったけど、来年はぜひ参加したいと言っていた。ぜひ、公民館活動から、魅力をどんどん発信してもらいたい。

私の身近な経験からいうと、北原地区の公民館で6年ほど、首都圏の子供たちを中心に移住を希望している人を招き、毎年公民館で宿泊しながら、北原ふるさと村としてかなりアピールしていた。都会から芸術系の学生や社会人を呼んで北原芸術祭を行った。21名の参加があった。それをケーブルテレビなどで発信した。公民館を使いやすくするということで、学生に3日間公民館を貸して合宿をしてもらい、その内容を集落サロンで発表するなど私たちも自信になったし、たくさん地域の財産を発信できた。これは事業計画や発信と重なるものがあり、方針と事業計画が一致したとても優れたものだと思う。

(委員) 他にも魅力発見の事業が組まれているわけですが、参加者が経験を自分の中にとどめるのではなく、外に発信していくことが大切な仕事私たちの仕事でもある。

(委員) 13ページからですが、いろいろ女性セミナーや子育てセミナーに関わっているが、女性セミナーは、やる気のある人たちが参加して、自分たちで企画を立てて、強い女性の力が出ていると感じている。

子育てセミナーは、初めて自分の子供を人にあずけて、その間にセミナーを受けるということで自分の子供が2時間位自分の手から初めて放すという体験がとてもいいことだと思う。親にとっての2時間は有意義でもあり、心配でもあると思う。親の成長が感じられる。

おもしろひろばは、地区によって参加の偏りがある。飯山や秋津は多いが、外様や瑞穂が少ない。主任児童員が主になって活性化センターで活動しているところもあるからかと思うが、検討していかなければ、もっと呼びかけなければいけない、参加できる人はいいののだが、どこかから来た時に、アパートに閉じこもってしまっていることが大勢いるのではではないかと思う。そこら辺の力になれるそういう講座というか事業にしていかなければいけないと思っている。

（委員）外様は活性化センターで子どもたちを集めて行事をやっている影響もあると思う。より多くの人たちが参加してもらえる方策も大切だと思う。

（委員）毎年10月に総合学習センターフェスティバルがあるが、愛宕町の行事と重なっている。だんだん愛宕町へ参加する人が多く、こちらへ戻ってくるひとが少ないと思うので、少し考えてもらいたい。

（事務局）商工会議所の開催している寺宝展と花フェスタと同時開催にしてお客さんの流れを作ろうということで続いており、3者で打ち合わせをして開催しているが、昨年あたりから出来れば別に開催した方がいいのではないかという意見もあり検討している。ただこの前後に大きなイベント（駅伝大会、北信州ハーフマラソン）があり日程的にここになってしまう。

（委員）消費生活展を単独でやってもお客さんがなかなか来ないので、センターフェスティバルと同時開催させてもらっているが、昨年あたりからこちらへ足を運ぶお客さんが少なくなっている。

（委員）同時開催の相乗効果でよくなればと思う。そういう所を目指していけばいい。こちらにお客さんが来てもらえるような事を考えていきたい。

（委員）市公民館と地区公民館の事業の違いは区別しておくべきだと思う。市の公民館からの女性で地区の公民館事業が活性化すれば、市も活性化するので、地区の方への金銭的な協力もお願いしたい。市の公民館の事業で、貸館事業とし市の独自の事業がある。市の事業については、細かく行っていただきありがたい。貸館事業について、公民館使用の登録団体などの利用団体ですが、利用が増えれば増えただけ、市の公民館の活性化になるわけで、登録団体を増やすことも市の公民館事業になると思うので、もっとPRしてほしいし、やがては芸術祭などの参加も増えると思う。同じ教育委員会なので、スポーツも芸術も、貸館事業によって活性化すればいいと思うのでもっとPRしてもいいと思う。減免の基準はどのくらいか。

（事務局）76の社会教育団体については書類をそろえてもらって審査を市、最終的には教育委員会が認めており、認められた段階で100%無料になる。冷暖房料は半額の減免

となる。その他の登録のない団体は有料となる。

（委員）サークル活動でも有料となるのか。

（事務局）社会教育団体の登録されていない団体は有料となる。

（委員）社会教育団体にもっと登録してもらえば市の活性化となると思う。

（委員）76 団体は増える傾向なのか、横並びなのか。

（事務局）毎年 5 団体くらい減少している。原因は高齢となり、新しい加入者がいなくなっている。そのため今まで 8 名いないと認めなかったのを 6 名でいいように昨年から緩和した。

（委員）せっかくの施設なので、規制をかけて使いにくくして活動を鈍らせては意味がないので、大いに利用できるようにしてもらいたい。

（委員）貸館機能的な意味合いの言葉は無いようだが

（委員）減免をするという行為も貸館事業ではないか。そこをもっと利用するする人を増やせば、市も公民館事業が活性化すると思う。

（事務局）サークル活動については皆さんに使っていただけます。社会教育団体に登録していただいているサークルについては、しっかり公民館を活用してもらうために使用料についても全て減免します。それが一つのサークルの支援となっている。市民の皆さんのサークル活動を活発にしましょう、公民館を使ってもらいましょうという支援となっている。公民館は場の提供も大きな目標となる。皆さんが集う場の提供を公民館がやっていく。それが登録された皆さんについては減免になりますよと言うのが大きな目標。もう一つはサークルをいかに増やそうかという中では、公民館主催の成人講座で集まった皆さんでぜひサークルを作ってください、活動してくださいという働きかけを行うことが事業としてのサークル支援となる。卒業生でサークルを立ち上げる。女性セミナーでも、子育てセミナーも同じで、一つのセミナーからサークルが生まれていく期待を持って事業をしている。

（委員）せっかくある施設を利用していこうという姿勢を出していく。それを数値化すれば損をしてしまうことになるが、公民館事業的には予算と同じ意味合いなので、そこが膨らんでも市が直接困らないし、公民館事業が膨らんだことになると思う。

（委員）大いに活動を伸ばしていくための力も必要だと思う。

（委員）76 のサークルを冊子などにして日常的にアピールする必要があるのでは。中野市は年 4 回詳しく活動を紹介したものを冊子にしていって使いやすい。瑞穂のオカリナサークルは人数が増えているので、地区館と本館が連携してアピールをしてもらいたい。

(4) その他

(委員) 総合学習センターという予算があったり、4月からは総合学習センターを廃止して6館という形で新しいスタートを切っていく形を取るようだが、4月号では市の組織図の中に公民館という組織が全く出てこないが、無くなったのか。公民館はどういう位置づけなのか。

(事務局) 広報編集の中で落ちてしまいました。5月号に訂正分を掲載させていただきました。大変ご迷惑をおかけしました。

(会長) 第1回の最初の審議会と言うことで熱心な協議をありがとうございました。この審議会は年2回開催されるので、いろいろな機会を通じて公民館活動を見ていただき参加していただきながらご意見をいただければと思います。

7 その他

(課長) 皆さまからいただきましたご意見につきましては、今後の公民館活動に活かしていただきたいと思います。また、今回ご提示させていただきました内容について、ご意見がありましたらご連絡いただければと思います。よりよい公民館活動を進めていければと思います。

8 閉 会